

保 健 体 育 科 (体 育) 学 習 指 導 案							
日 時		令和4年10月19日(水)第5時限		指導者	堀内秀嗣 松原良之介		
学 級		理数科・普通科 1年 3・4組		教 室	体育館		
単 元		球技(バレーボール)		教科書	現代高等保健体育(大修館)		
指導目標	1 役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開させる。 2 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。			指導計画	1 オリエンテーション・・・・・・・・・・1時間 2 基本的技能の習得・・・・・・・・・・4時間 3 発展的技能の習得・・・・・・・・・・6時間 (本時はその3時間目) 4 審判法・・・・・・・・・・2時間		
本時の指導過程	主 題	パスゲームを通じたコート内の穴を埋めるフォーメーションの考察					
	本時の目標	1 本校、分校連携で互いに話し合いと実践を繰り返し行い、ポジショニングの重要性を知る。 2 スパイクを用いた実践的ゲームに向け、基本的なボール操作を身に付ける。					
	課 題	フォーメーションシートを仕上げ、チームメイトとポジションの確認をしておく。					
	学 習 活 動		時間	留意事項など(ALの視点を含む)		評価基準・方法、資料等	
	導 入	1 出欠・健康観察を行う。 2 本時の目標を確認する。 3 準備運動を行う。	5	・健康状態を把握させる。 ・本時の目標を理解させる。 ・活動内容に応じた準備運動を行わせる。		・バレーボール ・ビブス ・タブレット ・プロジェクト	
	展 開	1 基本練習を行う。 (1) キャッチボール (2) パス 2 ゲームを行う。 (1) パスゲーム	10 30	・ボールを捉える位置に注意しながらサーブやオーバーパスの基本を確認させる。 ・チームで決めたポジションを常に意識しながら活動させる。 ・称賛、励ましや連携のための声掛けを活発に行わせ、ラリーを楽しませる。		【評価基準】 A ポジショニングによる役割を理解し、効率良く丁寧なボール操作を行っている。 B 自己の能力に応じた丁寧なボール操作を行っている。 C 自己の能力に応じたボール操作ができない。 【評価方法】 ○行動観察 ○動画	
	どうすればパスのみで得点することができるか。					【評価基準】 A 伝えられた情報を理解し、より発展させるための活発な意見交換をしている。 B 伝えられた情報を理解している。 C 伝えられた情報を理解していない。 【評価方法】 ○行動観察	
	(2) 分校生からアドバイス			・遠隔でのアドバイスを聞き入れ、より発展した攻防ができるよう意見交換させる。			
	どのようなフォーメーションが有効であるか。						
	整 理	1 整理運動と健康観察を行う。 2 本時のまとめと次時の学習内容を確認する。	5	・健康状態を確認する。 ・ゲーム分析の結果を踏まえ、次時の課題を予告する。			
	備 考		生徒数 18 名(津島分校 生徒数 19名)				